

非核の政府を 求める大阪の会

ニュース

非核の政府を求める大阪の会 中西 裕人
 〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 (新谷町第3ビル 210号)
 TEL.06(6765)3032 FAX.06(6765)3033
 URL・http://homepage3.nifty.com/hikakuosaka/
 E-mail・hikakuosaka@hotmail.com
 hikaku-osaka1986@nifty.com

第160号 2014年3月1日

原発学習シリーズ～非核の政府を求める大阪の会総会記念講演より～

福島原発の
現状と
問題点

若狭原発群で 過酷事故が起ったら



▲放射線量の測定中

第一原発の1～3号機が運転中であつた。地震動のため外部電源倒壊、緊急時のための自家発電機が津波で倒壊とすべての電源がつかえなくなつた。また、津波の高さの想定も過去の歴史を学ぶこと無く、低い防壁にしてしまった(想定外の津波の高さは欺瞞)。根拠の

大地震発生時、福島第一原発の1～3号機が運転中であつた。地震動のため外部電源倒壊、緊急時のための自家発電機が津波で倒壊とすべての電源がつかえなくなつた。また、津波の高さの想定も過去の歴史を学ぶこと無く、低い防壁にしてしまった(想定外の津波の高さは欺瞞)。根拠の

日本列島を大雪が覆つた極寒の二月十五日、非核の政府を求める大阪の会の第二八回年次総会が開催されました。記念講演は上記のテーマで熊取町にある京大原子炉研究所で気象学を研究されてこられた岩本智之氏(当会常任世話人・日本科学者会議大阪支部幹事)に福島原発事故後の問題点について講演をしていただきました。

ない「安全神話」がもたらした人為事故。そして原子炉建屋の内部では最悪の炉心溶融(メルトダウン)からメルトスルーへと進む。未だに止まらない汚染水。安倍首相の「福島汚染水は完全にコン

トロール下にある」とのオリンピック誘致の答弁は真つ赤なウソ。国民・住民生活への影響を小さく見せようとの策動がたえず行われている。高市早苗政調会長の原発事故で死人はでていない、との発言。昨年十二月現在で、関連死は一五九三人。事故がなければ失われなかつた命である。日本政府の発表によれば、放出された放射性物質はヒロシマ二〇発分とのことだが、実際

滋賀県のシミュレーション一例



▲琵琶湖の汚染図

琵琶湖の汚染は関西地方に多大な影響を与えることになる。琵琶湖の水の汚染はいうまでもない危険であるが、滋賀県は琵琶湖の六倍の面積の山林部分が存在し、そこに蓄積された放射性物質は、たえず、琵琶湖に注ぎ込まれていくのである。

日本列島はすべて大地震の「巣」。日本の自然エネルギーのポテンシャルは高い。外国へ原発輸出には熱心だがその放射性廃棄物は日本に送り返されるのである。「核のゴミ」問題は元首相までも「反原発」の姿勢に変えている。一日も早く原発依存から脱却し、自然エネルギーに転換しよう。

「ストレストテスト」はコンピュータのシミュレーションのみで実物の検証はなしであり、福島事故の原因解明も済んでいない段階で「安全だから」再開とは言えない、また大飯をはじめ敦賀、東通、志賀の直下で活断層が見つかっている。最近では地崩れだと言って、活断層ではないとの主張で運転再開を強行しようとしている。

- 若狭原発事故が起つた場合、どうなるであろうか。福井県の出した資料は、黒く塗りつぶされているものである。隣県の滋賀県の
- ①【非核五項目】
 - ② ①全人類共通の緊急課題として核戦争阻止、核兵器廃絶の実現を求める
 - ③ ②国是とする非核三原則を厳守する
 - ④ ③日本の核戦場化へのすべての措置を防止する
 - ⑤ ④国家補償による被爆者援護法を制定する
 - ⑥ ⑤原水爆禁止世界大会の、これまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する。

非核の政府を求める大阪の会第二八回★ 年次総会★ 開催



第28回年次総会代表あいさつ

冒頭、中川益夫代表世話人から開会のあいさつのあと、体調不良で今期かぎりです務局長を退任される中西裕人氏にかわり、長尾正典事務局次長から議案の説明がおこなわれた。核兵器廃絶の取組はもちろん、非核の会独自の取組として、自治体の非核平和施策実現の活動、とくに昨年来の「ピースおおさか」のリニューアル展示が、橋下大阪市長の独善的な歴史観により「ピー

スおおさか設置理念」にも反し、公の自治体の「ピース」展示にはふさわしくない「大阪空襲」に特化したユニラテラリズム(自己中心主義)の非科学的なものになっている。ピースおおさかでも開催された国際的な戦争博物館が到達している戦争の展示は、加害・被害・国際連帯の総合的な視点が求められるものとはかけ離れたものになっている。当会は、府民の声を反映したりリアルを求めて運動の一端をになって活動してきた。そのなかで、田辺模擬原爆に関する展示、「原爆の火」の灯火設備の設置などの具体的な施策の要望書を提出している。

当面の活動としては、第一次世界大戦一〇〇年、広島・長崎の被爆七〇年目、ビキニ水爆事件六〇年目、そして来年NPT再検討会議が開催される重要な準備段階の年である。それらにふさわしい国内外の運動とリンクした

活動が求められている。創立以来、事務局長の任についておられた中西裕人弁護士にかわってノーモア・ヒバクシヤ集団訴訟の弁護団の一員として活躍されている豊島達哉新事務局長のもとで非核平和を求める運動の一層の発展をめざして活動していく総会となった。

中西裕人の憲法の話② 靖国雑感 昨年(二〇一三年)一二月の安部首相★ 靖国参拝に思うこと

もう二十年ほど前のことになるでしょうか、イギリスのエジンバラに行ったときのことです。エジンバラ城を見学していて、壁に多くの人名が刻まれているのを見ました。「榮譽」「名誉」等のきらびやかな言葉が躍るそのリストは、「女王陛下」のために命を捧げた人を称えるものでした。「国のために犠牲と

なった人を顕彰する」というのは、珍しいことではなく、戦役の紹介も併記されたこのモニュメントを、特に違和感を覚えるでもなく読み進んでいて、ふと足を停めたのは、「セポイの乱」の文字でした。インド植民地化の過程で起きた戦役での戦死者を称える記載に、アジア人である私は、少しく不愉快でした。インド人がこれを見てどう感じるかは、想像に難くありません。若干の不愉快感とともに、侵略戦争に対する反省を表明している自分の国に誇りを感じたものです。

国のために戦って死んだ人を顕彰する施設は、どこの国にもあるのでしょうか。その意味では、「当たり前」のことかも知れません。しかし、「戦った」ということは、常に戦った「相手」があるという事。十九世紀ならいざ知らず、そろそろ戦った相手のことを慮っても

いい時代ではないでしょうか。戦死者を称えれば称えるほど、それは殺された相手の心を傷つけるという相関関係があるように思います。戦った相手であり、国土を蹂躪された中国・韓国が反発するのは、無理からぬことだと思います。そして、「相手」が存在し、その感情を傷つける以上、それは外交問題です。外交というのは、他国のお付き合いのことだからです。「外交問題ではない。」「と言うのは、「あなたがどう感じようと、知ったこっちゃありません。」と言うに等しく、無神経に過ぎます。

もちろん、相手の感情だけで自分の行動を決するといわけにはありません。相手の感情を損ねても選択しなればならないこともあることでしょう。しかしそれは、しっかりとした利益考量のう

えでなされるべきことです。「死者を弔うだけのこと」「外交問題ではない」として一蹴するべきことではありません。靖国参拝によって、首相は、中国韓国の反発を蹴散らして、何を得意と図っているのでしょうか。

戦死者への追悼は、国家が自国民の生命を強制的に奪ったことへの謝罪であり、贖罪への誓いであるべきです。決して、「英霊」として称揚することではないはずです。そしてそれは、戦死者が強制されて奪った他国人の生命への鎮魂と謝罪と、ペアであるはずで

戦争の犠牲者を追悼するとしたら、なぜ靖国なのでしょう。なぜ国家神道なのでしょう。稿をあらためて、次の機会には、憲法の政教分離について考えたいと思います。



写真① 稲嶺出陣式

世界の良識とともに

基地の 沖繩を ない

★原発避難者を受けいれた名護市

「名護市は私たち原発避難者を温かく受け入れてくれました。住宅確保など何かと世話を焼いてくれました。この子の医療費も無料で助かっています。辺野古移設を言い出していますね。原発から逃げてきたのに今度は米軍基地…不安です。稲嶺さんにぜひ勝ってほしい」

★稲嶺市長が勝利

このお母さんたちの思いが届き、稲嶺進候補が一月一九日(日)名護市長選挙で再選されました。安倍政権と仲井真知事から物心両面の支援を受け、基地再編交付金(わずか一〇〇一五年間の一時金、それに対し基地の耐用年数は二〇〇年)で地域活性化をはかると称する末松候補を退けての勝利でした。チームワークへの信任

★基地拒否の審判

沖繩の米軍基地はすべて、国際法に違反し米軍が銃剣とブルドーザーで県民から土地を強奪してつくってきたものです。それが、昨年一二月二六日沖繩県史上初めて仲井真知事が辺野古埋め立て承認という形で基地を受け入れたのです。同日、安倍首相はこの成果をもって靖国神社に参拝しました。名護市民は、知事が安倍政権の重圧に屈したこと危険を感じ、「陸にも海にも基地はつくらせない」

★勝ちとる民主主義

とぶれない稲嶺平和市長を選びました。「沖繩公選法」というキーワードがあるように、沖繩県には告示日以降も比較的自由に有権者と対話ができるという「民主主義本来の姿」が残っています。そのためもあり、自動車やキビ畑の中から手を振ってもらったり、頑張ってもらったり入力をもらったり有権者の反応を肌で感じる事ができます。これが、沖繩で選挙ボランティアを一回したらやめられない理由です。私は、一昨年末で選挙ボランティアで二回沖繩に行きましたが、基地反対派の候補者がいづれも惜敗するという残念な結果になりました。それが、今回三度目の正直、一〇日間の奮闘の甲斐あって稲嶺市長の勝利を目にすることができ、「民主主義は与えられるものでなく勝ちとるもの」という実感を得ました。今回、大阪平和委員

★政府は無視

名護市長選勝利に安住していません。政府は、市長選で審判が下ったにもかかわらず、選挙の二日後辺野古移設に向け新基地の設計や環境調査などの受注業者を募る入札を公告しました。三月末までに業者と契約し、約一年かけて調査・設

★沖繩県知事選は天王山

好戦的な安倍政権は、今後、辺野古移設に向け九月名護市議選での稲嶺与党の転覆、一月知事選挙での基地推進派知事の当選を狙って必死でハードパンチをくり出してくるでしょう。

オリバー・ストーン映画監督など世界の識者・文化人たちが始めた「沖繩の新基地建設に反対し普天間基地の即刻返還を求める」国際署名運動も急速に広がっています。世界の良識と手をつなぎ、

ここ大阪でも基地のない沖繩と両選挙必勝に向けた学習運動と取り組みを強めていくことが求められます。(大阪平和委員会 上羽治雄事務局 長)



写真② 成人式宣伝

交渉協議

米駆逐艦カーティスウィルバー入港問題で大阪市と

米イージス駆逐艦カーティスウィルバーの大阪港入港問題で、昨年一〇月に大阪安保、平和、原水協、非核の会が連名で提出していた「大阪港入港許可を認めない要請書」(一、大阪港平和利用の市会決議、平和都市宣言に



▲昨年10月、大阪港に停泊中のカーティスウィルバー

「回答」(二、港湾法第一三条第二項、市会決議、平和都市宣言に基づき対処する。二、核兵器搭載の有無の確認は、外務省、大阪米国防領事館、神戸米国防領事館に問い合わせて行った。三、平和都市宣言、市会における諸決議などを踏まえ、市民に平和の尊さを伝え、国際社会の発展と平和に貢献する魅力ある国際平和都市大阪づくりを推進する。)

市側の回答は、外務省の「カーティスウィルバーには核兵器搭載能力がない」、総領事館の「米国は、艦船・潜水艦・航空機に核兵器を搭載しないことを一般政策としている」という言い分をそのまま回答している。四団体側は「カーティスウィルバーはかつて湾岸戦争時、ペルシャ湾に出撃し劣化ウラン弾を使用していること、魚雷発射管二基搭載し、ミサイル発射セル九〇個を装備しているが、い

ずれも核・非核両用である。したがって核搭載能力がない、という判断がどこから出てくるのか、軍事常識ではありえない」「外務省や米国防領事館に足を運んだことは了としても、米国はNCND政策で臨んでいる以上、他の確認手段が必要」などと追求。

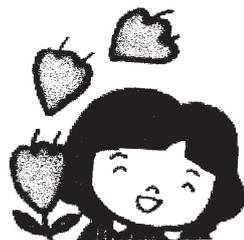
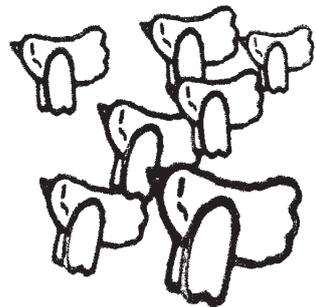
今後、米艦船入港時に核兵器搭載の有無を証明できない場合の入港は許可しないよう強く要請した。

非核の政府 8 回年次総会への激励のメッセージ・祝電

ありがとうございました

- | | | | | | |
|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| 堺市長 | 竹山 修身 | 枚方市長 | 竹内 脩 | 岸和田市長 | 信貴 芳則 |
| 泉大津市長 | 伊藤 晴彦 | 八尾市長 | 田中 誠太 | 摂津市長 | 森山 一正 |
| 交野市長 | 中田 仁公 | | | | |

- 非核の政府を求める滋賀の会
 非核の政府を求める和歌山県民の会 代表理事 西村 佳三
 全大阪労働組合総連合 議長 川辺 和宏
 大阪自治体労働組合総連合 執行委員長 大原 真
 大阪府立高等学校教職員組合 執行委員長 志摩 毅
 自交総連大阪地方連合会 執行委員長 秋山 民夫
 大阪市役所労働組合
 大阪いずみ市民生活協同組合 理事長 藤井 克裕
 泉南民主商工会 会長 福井 滋二
 進歩と革新をめざす大阪の会 (大阪革新懇)
 大阪府保険医協会 理事長 高本 英司
 全大阪生活と健康を守る会連合会 会長 大口 耕吉郎
 日本機関紙協会大阪府本部 理事長 西岡 健二
 日本共産党堺市議会議員団



(順不同・敬称略)